

- 問12 貴事業所での社員採用方法について該当する項目に○をつけてください。(○はいくつでも)**
- | | |
|----------------------------|---------------------------------|
| 1. 公共職業安定所を通じて | 5. 縁故等を通じて |
| 2. 民間職業紹介機関を通じて | 6. 川崎市「キャリアサポートかわさき」の無料職業紹介を通じて |
| 3. 関連会社等を通じて | 7. その他 () |
| 4. インターネット・求人雑誌・新聞広告等で直接募集 | |

問13及び 問14 は、パートタイマー（アルバイトを含む）を採用している事業所にお聞きます。

問13 AとBの各設問について、パートタイマー（アルバイトを含む）の労働時間等を男女それぞれ1つずつ選び、回答欄に番号をご記入ください。(選択番号を記入)

A. 1日の平均労働時間

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 3時間未満 | 5. 6時間以上7時間未満 |
| 2. 3時間以上4時間未満 | 6. 7時間以上8時間未満 |
| 3. 4時間以上5時間未満 | 7. 8時間以上 |
| 4. 5時間以上6時間未満 | |

男性	女性

B. 週あたり平均労働日数

- | | |
|-------|-------|
| 1. 1日 | 5. 5日 |
| 2. 2日 | 6. 6日 |
| 3. 3日 | 7. 7日 |
| 4. 4日 | |

男性	女性

問14 貴事業所でパートタイマーの労働条件や処遇等で実施しているものについて該当する項目に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 正社員への登用（制度の整備） | 5. 福利厚生施設の利用 |
| 2. 賃上げ | 6. 苦情の申し出に対する解決制度 |
| 3. 育児・介護休業制度 | 7. その他 () |
| 4. 教育訓練の実施 | 8. 特になし |

※改正パートタイム労働法が平成27年4月1日に施行され、パートタイマーの雇用環境の整備が図られています。

問15 貴事業所の定年制度の形態について該当する項目に○をつけてください。(○は1つ) また、1（一律に実施）を選択した場合、定年年齢についてもご回答ください。

- | | | | |
|------------|---|------|---|
| 1. 一律に実施 | → | 定年年齢 | 歳 |
| 2. 職種別に実施 | | | |
| 3. 定年制はない | | | |
| 4. その他 () | | | |

問16 貴事業所における定年退職者の平均勤続年数について該当する項目に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 20年未満 | 4. 30～35年未満 |
| 2. 20～25年未満 | 5. 35年以上 |
| 3. 25～30年未満 | |

※算出にあたっては、前年度1年間をベースにご回答ください。

問17 貴事業所における定年退職者一人当たりの平均退職金額について該当する項目に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 500万円未満 | 6. 1,500～1,750万円未満 |
| 2. 500～750万円未満 | 7. 1,750～2,000万円未満 |
| 3. 750～1,000万円未満 | 8. 2,000万円以上 |
| 4. 1,000～1,250万円未満 | 9. 退職金制度はない |
| 5. 1,250～1,500万円未満 | |

※算出にあたっては、前年度1年間をベースにご回答ください。

問18 貴事業所に以下の制度はありますか。該当する項目に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. 再雇用制度 | 3. 再就職斡旋制度 |
| 2. 勤務延長制度 | 4. いずれの制度もない |

※「再雇用制度」とは定年到達時点でいったん退職させた後、再び雇用する制度です。
 ※「勤務延長制度」とは、定年年齢が設定されたまま、その定年年齢に到達した者を退職させることなく、引き続き雇用する制度です。

問19 貴事業所では、ワーク・ライフ・バランスに関する取り組みを実施していますか。該当する項目に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 育児・介護等による短時間勤務やフレックスタイム等、時差勤務制度 |
| 2. 育児・介護等による勤務軽減措置（時間外・休日勤務の免除、転勤配慮等） |
| 3. 在宅勤務制度 |
| 4. 託児施設の設置 |
| 5. 育児・介護等による休職中の経済的支援（社会保険料の援助等） |
| 6. 休職前や復職時の上司や人事部を交えた面談（勤務環境や業務の確認等） |
| 7. 育児・介護等の事由による退職者に対する再雇用制度 |
| 8. 転勤等の要件を満たさなくても女性社員を管理職に登用 |
| 9. その他 () |
| 10. ワーク・ライフ・バランスに関する取り組みはいつでも行っていない |

問20 貴事業所では「働き方改革」に関する以下の取り組みを実施していますか。該当する項目に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 長時間労働の是正 | 7. 障害者、高齢者の活用 |
| 2. 有給休暇の取得促進 | 8. 外国人雇用 |
| 3. 育児・介護休業制度の導入 | 9. オフィス環境の改善 |
| 4. 短時間勤務、フレックスの導入 | 10. 人材育成 |
| 5. テレワークの導入 | 11. 健康経営の促進 |
| 6. 生産性向上
(具体例：) | 12. その他 () |
| | 13. 特に取り組んでいない |

問21 貴事業所の福利厚生制度について該当する項目に○をつけてください。(○は1つ)

- | |
|---------------------------|
| 1. 自社で独自制度により実施 |
| 2. 民間の福利厚生会社にアウトソーシング |
| 3. 公的な制度（かわさきハッピーライフ等）を利用 |
| 4. 商工会議所・法人会等の会員制度を利用 |

問22 福利厚生への導入・運用にあたり、課題はありますか。該当する項目に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 経費負担が大きい | 4. 課題はない |
| 2. 事務負担が大きい | 5. その他 () |
| 3. ニーズがない・少ない | |

問23 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、働き方や職場環境について既に実施したものと今後実施を検討しているものについて、該当する項目に○をつけてください。(○はいくつでも)

	項目	実施済み	実施予定
働 き 方	テレワーク（在宅勤務）	1	1
	※実施率(社員の在宅勤務者数÷全社員数)	%	%
	サテライトオフィス勤務	2	2
	時差出勤・フレックスタイム	3	3
	Web会議	4	4
	ビジネスチャット	5	5
	副業の制度	6	6
職 場 環 境	その他 ()	7	7
	特に対策していない（対策する予定はない）	8	8
	ICT・ネットワーク環境整備	1	1
	事務スペース等の社内レイアウト変更	2	2
	Web会議用の個室・ブースの設置	3	3
	非接触ツールの導入	4	4
	フリーアドレスの導入	5	5
	ペーパーレス化の促進・社内クラウド化	6	6
	セキュリティの強化	7	7
	デジタルデバイスの取得支援	8	8
その他 ()	9	9	
特に対策していない（対策する予定はない）	10	10	

問24 テレワーク等の実施、または実施率向上に向け、今後必要となる課題はありますか。該当する項目に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1. マネジメント（業務・勤怠・評価） | 6. AI・RPAの導入 |
| 2. 生産性・業務効率の低下への懸念 | 7. 社員のモチベーション |
| 3. テレワーク可能な社員と不可能な社員の不公平感 | 8. 就業規則の整備 |
| 4. 社内コミュニケーション | 9. その他 () |
| 5. デジタル人材の採用・育成 | 10. 特に課題はない |

問25 雇用状況について該当する項目に○をつけてください。

雇用状況に変化はありましたか。(○は1つ)		
1. 大きく変化あり	2. やや変化あり	3. 変化なし → 問26にお進みください
新型コロナウイルス感染症の影響による変化ですか。(○は1つ)		
1. はい	2. いいえ	
雇用状況が変化した理由について、該当項目に○をつけてください。(○はいくつでも)		
1. 採用活動の強化	7. 機械化やロボットの導入	
2. 派遣社員又は出向者の活用	8. 一部業務のアウトソーシング	
3. 非正社員から正社員への登用	9. 海外拠点や海外企業の活用	
4. 定年延長・廃止等	10. 部門・業務の縮小・廃止	
5. 外国人の登用	11. その他 ()	
6. 職場環境の整備（働きやすい環境）	12. 特に理由はない	

問26 人材確保について該当する項目に○をつけてください。

人材確保においてどのような人材に興味がありますか。(○はいくつでも)		
1. 新卒予定者 (大卒・専門学校卒・短大卒)	5. 女性	
2. 新卒予定者(高卒)	6. シニア	
3. 経験者採用(中途採用)	7. 出向者の活用	
4. 就職氷河期世代(概ね35～54歳)	8. 外国人	
	9. その他 ()	

問27 外国人の在籍状況について該当する項目に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 現在、在籍している | → 問27にお進みください |
| 2. 過去に在籍していたことがある | → 問28にお進みください |
| 3. 在籍していない | → 問28にお進みください |

問28 問26で「1(現在、在籍している)又は2(過去に在籍していたことがある)」を選んだ場合のみお答えください。

- その方の在留資格(就労ビザ)は何ですか。(○はいくつでも)
- | | |
|-------------------|------------|
| 1. 専門的・技術的分野の在留資格 | 5. 特定技能 |
| 2. 技能実習 | 6. 資格外活動 |
| 3. 身分に基づく在留資格 | 7. その他 () |
| 4. 特定活動 | |

問29 問26で「1」、「2」と回答した場合は、課題に感じ(た)ていること、問26で「3」と回答した場合は、雇用等にあたって障壁となっていること、について該当する項目に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 費用がかかる | 6. 仕事や業務に対する意識の差 |
| 2. 日本語能力 | 7. 求人しても応募がない |
| 3. 受入れ体制の未整備 | 8. 異文化の相互理解 |
| 4. 手続きの煩雑さ | 9. その他 () |
| 5. 在留期間の制限 | 10. 特になし |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。